

## 平和を守り 真実をつらぬく 民主教育の確立を 岩手高教組第64次（岩教組69次） 教育研究集会

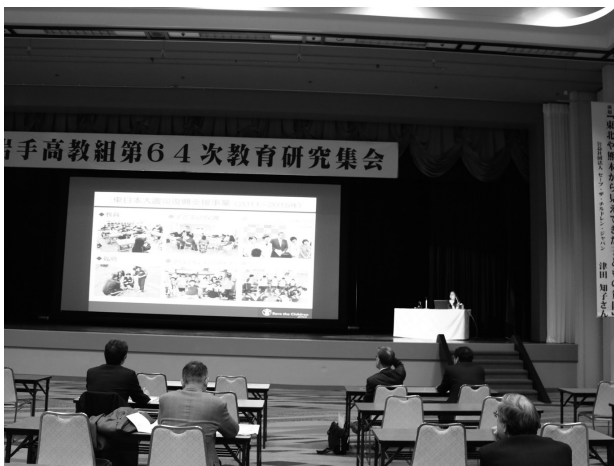
11月11・12日、花巻温泉「ホテル千秋閣」を主会場として、岩手高教組第64次（岩教組69次）教育研究集会を開催しました。1日目の全体会・講演会、2日間の分科会あわせて延べ294人（「公害・環境問題と職教育」「選抜制度と進路保障」岩教組教研での合同開催含み）の参加がありました。

全体講演会ではセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（SCJ）の津田知子さんを講師に「東北や熊本から見てきた子どもの貧困」と題してお話をいただきました。SCJは国内外で行政や地域社会と連携し、子どもたちとともに活動を行っています。東日本大震災や熊本地震における緊急・復興支援を通して、子どもの権利を実現する活動を行っています。講演では子どもの貧困の状況や、SCJで行っている給付型奨学金や修学旅行費を補助しているとりくみに

ついて紹介があり、支援の充実にむけて国際NGOと学校、教育委員会との連携の重要性について話がありました。会場からは被災地の高校ではSCJから手厚く支援を受けていたが内陸の高校でも経済的に苦しい家庭が多い実態や、生徒会と国際NGOとの連携について等の意見がありました。

分科会では問題別8分科会、教科別10分科会、特別分科会として設定した「震災と学校教育」など、合わせて19分科会で、96本のレポートの発表と討議が行われました。

参加者からのアンケートには、「分科会の人数が少なかったが、討論が深められた」等、分科会運営に関する意見や、次年度以降の教研の持ち方について意見が多数寄せられました。



全体講演



分科会